

はじめに

本調査は、当金庫のお取引先のご協力により昭和50年7月から実施しているものです。四半期ごとに調査を行い、D.I.を中心として分析を行っています。

なお、当金庫では6種類の一般業種のほか、地域金融機関として地場産業に重点を置いた調査を行い、次の8業種を選定しております。

- ① 縫製業
- ② 電子部品・半導体製造業
- ③ 漆器業
- ④ 木材業
- ⑤ 建具業
- ⑥ 織布業
- ⑦ 繊維・雑品業
- ⑧ 観光業

今回の調査は、令和5年1月～3月期の業況実績と、令和5年4月～6月期の見通しについて、管内519先の事業所を対象に実施いたしました。

些かなりとも経営のお役に立ていただければ幸いです。

※D.I. (Diffusion Index) 拡張指数

不変部分を除いて増加（上昇）したとする企業と、減少（下降）したとする企業の全体に占める構成比のどちらの力が強いかを比べて、時系列的に景気のベクトルの傾向を見る方法です。

**** 目次 ****

1. 概況	1
2. 地区内の業況D.I.推移	2
3. 一般業種の業況	
(1) 製造業	3
(2) 卸売業	4
(3) 小売業	5
(4) サービス業	6
(5) 建設業	7
(6) 不動産業	8
4. 地場産業の業況	
(1) 能登地区の縫製業	9
(2) 能登地区の電子部品 ・半導体製造業	10
(3) 能登地区の漆器業	11
(4) 能登地区の木材業	12
(5) 能登地区の建具業	13
(6) 能登地区の織布業	14
(7) 能登地区の繊維・雑品業	15
(8) 能登地区の観光業	16
5. 経済指標	17～18
6. 特別調査 混迷する経済社会情勢と中小企業経営	19

(注) 令和5年1月～3月を今期、令和4年10月～12月を前期、令和5年4月～6月を来期という、以下同じ。

調査対象企業の業種別先数および有効回答数

	依頼先	有効回答数	回答率 (%)	構成比 (%)
製造業	150	140	93.3	28.9
卸売業	24	21	87.5	4.3
小売業	149	137	91.9	28.3
サービス業	89	84	94.4	17.3
建設業	85	82	96.5	16.9
不動産業	22	21	95.5	4.3
合計	519	485	93.4	100.0

◇◆◇ 概 況 ◇◆◇

《 2023 年 1 月～3 月》

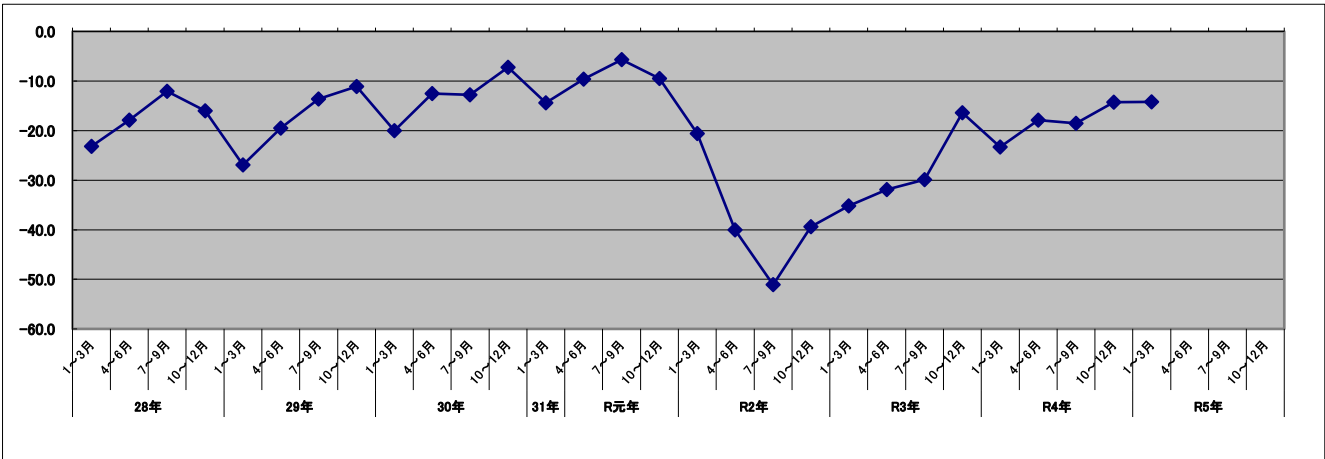
2023 年 4 月 9 日に日本銀行の総裁が黒田東彦氏から植田和男氏に交代する。戦後初の学者出身の日銀総裁の誕生であり、報道では「サプライズ人事」との声が出ている。黒田総裁の下で日本銀行はアベノミクスの一環である「異次元緩和」を展開。不況下で生産・経済活動が停滞している間に、インフレ(物価上昇)を避けつつ、金利の引き下げと財政支出の拡大によって市場を刺激して景気回復を目指す、といった政策である「リフレッシュ政策」を取っていた。しかし植田氏は積極的に金融緩和を推し進める「リフレッシュ政策推進派」とはやや距離を置いている立場であり、今後どのような金融政策を行うかが各業界に大きな影響を与える、重要な局面を迎える。

こうした中で、当金庫営業地区の今期業況 D.I. は、△14.2 (前期△14.3) とほぼ横這いであった。地区内全般ではサービス業はやや改善し、卸売業、小売業、建設業、不動産業は横這いで、製造業はやや悪化した。地場産業では電子部品・半導体製造業、木材業が大幅に改善し、縫製業、繊維・雑品業が横這いで、建具業、織布業が悪化、漆器業、観光業が大幅に悪化した。今期は地場産業において、業種により明暗が分かれる結果となった。主な動向を見ると、半導体の供給は車載向けと産業機器向けの需要がいまだに旺盛であるが、1 年前に比べると供給不足は大幅に改善され、2023 年第 1 四半期には供給不足が解決するとの見通しも出てきている。木材の価格高騰も落ち着いてきている。しかし依然として原材料の値上がりは続いており、値上げを予定しているものは電気料金、日用品、食料品などで品目も多岐に亘る。飲食関係のチェーン店や、宅配便の料金やタイヤの価格も値上げを予定している。今後も段階的な値上がりが予想されており、値上げを行わずに内容量を減らす対応も出てきている。原材料の値上がりに伴う商品やサービス等の値上げがいつまで続くのかは見通しが立っておらず、不安定な状態が続く。

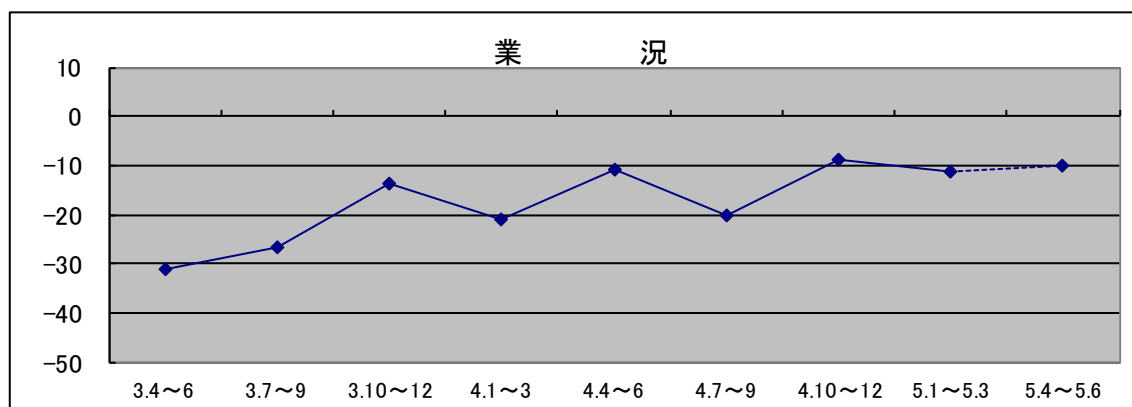
事業者はゼロゼロ融資の返済が本格化することもあり、負担の増加が一層厳しくなる懸念もある。返済に向けた早めの資金繰りや金融機関・専門家への相談、公的な補助制度の活用なども同時に行うことが必要になる場合も考えられ、企業はより営業利益が出る体質へ改善していくことが急務である。また、新型コロナウイルス感染症が新感染症法上の位置づけで季節性インフルエンザと同様の 5 類に移行するため、日本政府は令和 5 年 5 月 8 日付けで入国制限を解除する方針としており、解除後は海外渡航者やインバウンドが増えることが予想されるなど、状況の変化が激しい。その時の状況に即した対応を取ることができる柔軟性が求められる。

地区内の業況D. I. 推移

年	期間	業況D. I.	年	期間	業況D. I.
H28年	1~3月	△ 23.2	R2年	1~3月	△ 20.6
	4~6月	△ 17.9		4~6月	△ 40.0
	7~9月	△ 12.1		7~9月	△ 51.1
	10~12月	△ 16.0		10~12月	△ 39.4
H29年	1~3月	△ 26.9	R3年	1~3月	△ 35.2
	4~6月	△ 19.5		4~6月	△ 31.9
	7~9月	△ 13.6		7~9月	△ 29.9
	10~12月	△ 11.1		10~12月	△ 16.4
H30年	1~3月	△ 20.0	R4年	1~3月	△ 23.3
	4~6月	△ 12.5		4~6月	△ 17.9
	7~9月	△ 12.8		7~9月	△ 18.5
	10~12月	△ 7.2		10~12月	△ 14.3
H31年	1~3月	△ 14.4	R5年	1~3月	△ 14.2
R元年	4~6月	△ 9.6		4~6月	
	7~9月	△ 5.7		7~9月	
	10~12月	△ 9.5		10~12月	



製造業



【概 況】

今期（R 5.1月～3月）の業況D.I.は前期よりやや悪化し、△11.4（前期△8.8）となった。物価の高騰が続いており、売上の悪化に伴い収益も悪化している。人手が改善したが、資金繰りと設備は横這いとなっており、地域や業種を問わず、業況が悪化したと回答している企業は多い。設備投資を行う企業が増えてきたが、設備投資の動きは鈍い。

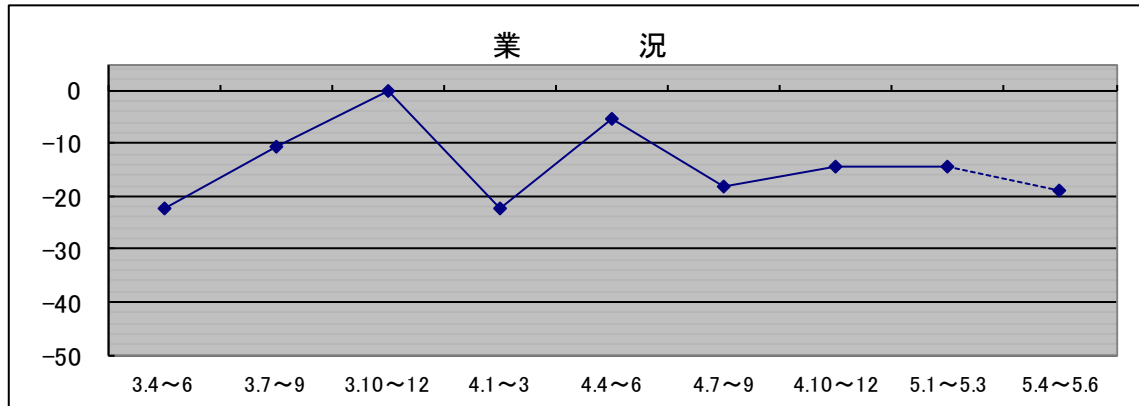
来期（R 5.4月～6月）の業況D.I.は△10.0と横這いを予想している。

《業績判断D.I.の推移》

	令和3年			令和4年			令和5年	見通し	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	4~6月	
業 況	△31.0	△26.8	△13.9	△20.9	△10.8	△20.3	△8.8	△11.4	△10.0
売 上	△29.4	△19.5	△3.1	△15.0	△2.2	△15.2	2.2	△12.9	0.0
収 益	△28.9	△13.7	△10.8	△17.6	△10.8	△21.7	△5.1	△17.1	△7.1
資金繰り	△15.5	△7.9	△10.3	△8.0	△7.2	△11.6	△9.6	△10.0	△10.0
人 手	△3.2	△3.2	△2.6	△3.2	△3.6	△5.1	△8.8	△6.4	△6.4
設 備	1.1	△2.6	△3.1	△2.1	△2.2	△3.6	△3.7	△3.6	△3.6

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	21.3%	提携先を見つける	34.5%
輸入製品との競争の激化	17.2%	販路を広げる	21.0%
原材料高	12.2%	経費を節減する	17.6%

卸売業



【概 況】

今期（R 5.1月～3月）業況D.I.は△14.3（前期△14.3）と横這いであった。物価の高騰が続いており、売上は若干改善したが個人消費は伸び悩んでいる。資金繰りはやや改善したとの回答が見られた。

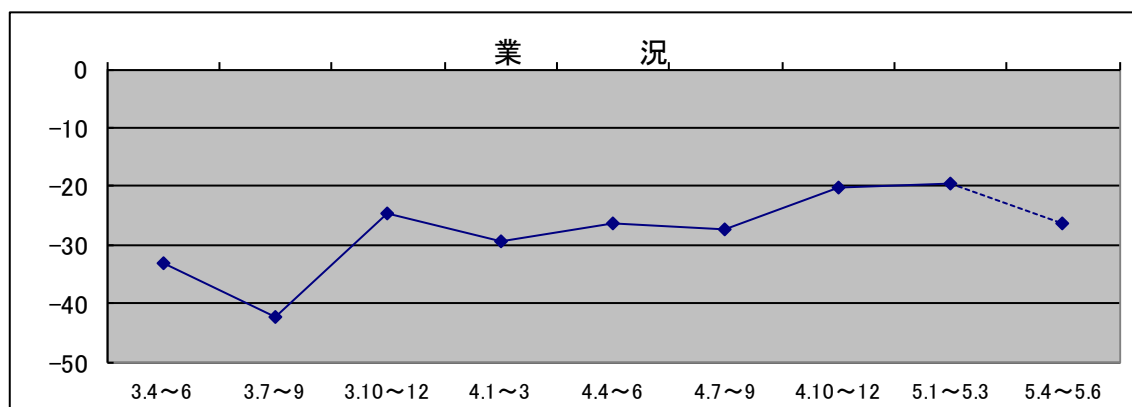
来期（R 5.4月～6月）は、やや悪化の△19.0と予想、売上・収益・仕入価格も悪化を予想している。厳しい状況が続くのではないかとの見通し。

《業績判断D.I.の推移》

	令和3年			令和4年			令和5年	見通し	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	4~6月	
業 況	△22.2	△10.7	0.0	△22.2	△5.3	△18.2	△14.3	△14.3	△19.0
売 上	△25.9	△21.4	△3.6	△14.8	15.8	9.1	4.8	9.5	△4.8
収 益	△18.5	△25.0	△7.1	△18.5	5.3	△22.7	△14.3	△14.3	△33.3
仕入価格	11.1	21.4	25.0	51.9	47.4	45.5	57.1	42.9	33.3
在 庫	△3.7	△14.3	△7.1	△3.7	0.0	△4.5	△9.5	△9.5	△9.5
資金繰り	△22.2	△14.3	△3.6	3.7	△26.3	△18.2	△23.8	△19.0	△19.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	14.6%	提携先を見つける	33.3%
合理化の不足	14.6%	販路を広げる	19.0%
同業者間の競争の激化	10.4%	経費を節減する	17.5%

小売業



【概 況】

今期（R 5.1月～3月）の業況D.I.は△19.7（前期△20.4）とほぼ横這いを示した。業況が芳しくないとの回答は飲食店・食料品・衣料品・化粧品などが目立った。

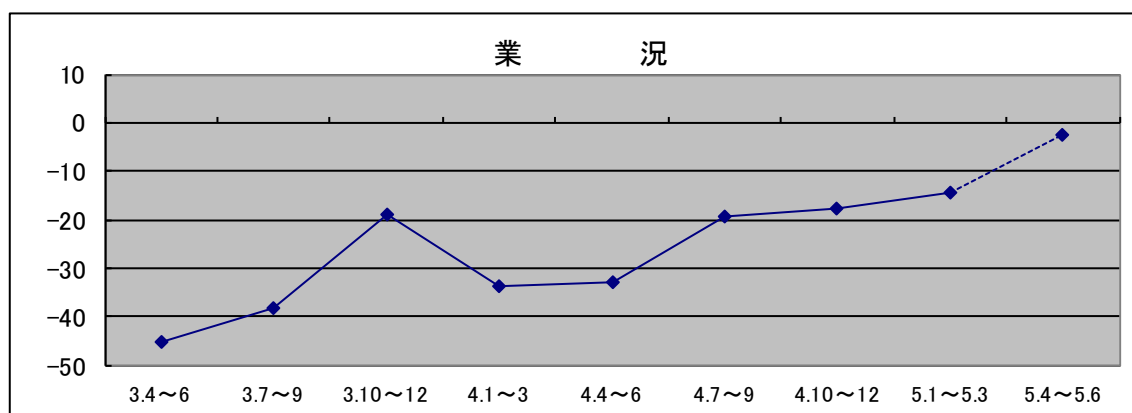
来期（R 5.4月～6月）業況D.I.については△26.3とクリスマスと年末年始の需要が落ち着いたことでやや悪化を予想している。業況と資金繰りについて悪化の予想であるが、売上・収益・販売価格については改善の予想で、昨年同時期に比べて改善傾向にあるといえる。

《業績判断D.I.の推移》

	令和3年			令和4年				令和5年	見通し
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
業 況	△33.1	△42.2	△24.5	△29.4	△26.3	△27.5	△20.4	△19.7	△26.3
売 上	△30.9	△34.4	△14.7	△22.6	△19.7	△13.8	△7.3	△11.7	△8.8
収 益	△29.8	△34.4	△14.7	△26.0	△27.0	△22.5	△12.4	△15.3	△8.8
販売価格	△2.2	△2.8	7.6	11.9	17.5	28.3	34.3	16.1	18.2
在 庫	0.0	△0.6	1.6	1.1	△7.3	0.7	0.7	△5.1	△5.1
資金繰り	△12.9	△12.8	△13.0	△11.9	△12.4	△8.7	△11.7	△6.6	△7.3

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	16.7%	仕入先を開拓・選別する	31.6%
利幅の縮小	14.4%	経費を節減する	24.7%
商圏人口の減少	14.1%	宣伝・広告を強化する	12.5%

サービス業



【概 況】

今期（R 5.1～3月）業況D.I.は△14.3（前期△17.6）と改善を示した。料金価格以外全ての項目が改善しており、料金価格についてはやや悪化した。

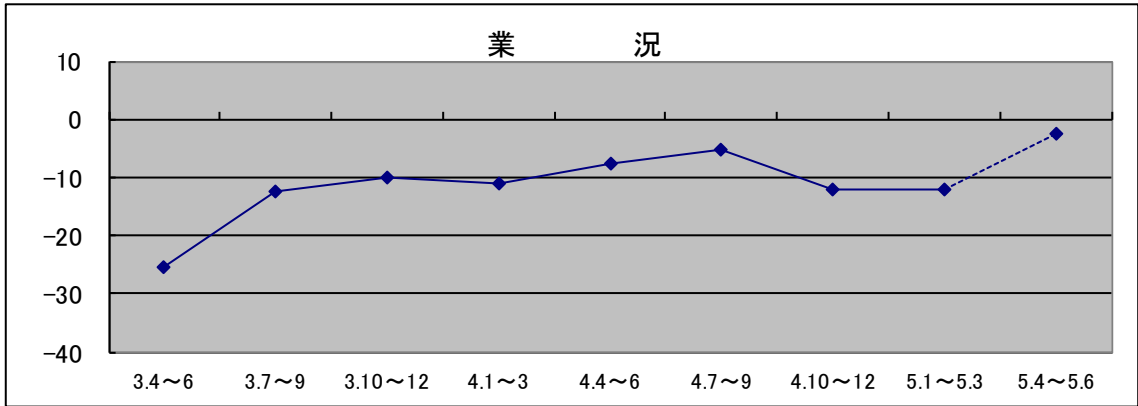
来期（R 5.4月～6月）業況D.I.は、行楽のシーズンで人流が増える時期であることから△2.4と改善を予想。イベントの開催も増えてきており、回復基調を保つとみている。

《業績判断D.I.の推移》

	令和3年			令和4年				令和5年	見通し
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
業 況	△45.1	△38.1	△19.1	△33.9	△32.9	△19.3	△17.6	△14.3	△2.4
売 上	△46.0	△32.7	△1.7	△26.8	△25.9	△14.5	△5.9	3.6	4.8
収 益	△41.6	△31.0	△2.6	△26.8	△25.9	△9.6	△5.9	3.6	8.3
料金価格	△3.5	△8.8	0.9	10.7	△4.7	10.8	15.3	8.3	8.3
資金繰り	△14.2	△21.2	△10.4	△16.1	△21.2	△7.2	△5.9	0.0	△3.6
設 備	△1.8	△3.5	△5.2	△8.9	△5.9	△6.0	△3.5	△2.4	△2.4

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
利幅の縮小	18.3%	提携先を見つける	30.7%
売上の停滞・減少	16.1%	経費を節減する	18.7%
商圈人口の減少	9.6%	販路を広げる	14.2%

建設業



【概況】

前回において今期（R 5.1月～3月）の業況D.I.は悪化するとの予想であったが、公共工事と一般工事に動きがあり、△12.2（前期△12.0）とほぼ横這いの結果であった。売上・収益・資金繰り・人手は改善したが、請負価格のみが悪化した。経営上の問題点に「同業者間の競争の激化」と「材料価格の上昇」、「売上の停滞・減少」が入り、価格競争により請負価格が低下していると考えられる。

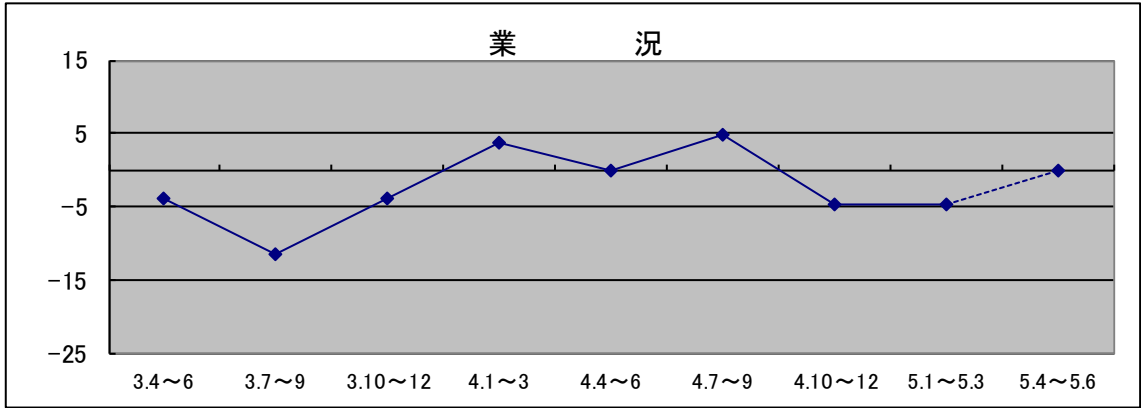
来期（R 5.4月～6月）の業況D.I.は△2.4と改善を予想。業況以外の項目についても概ね改善を予想しており、請負価格と人手が悪化すると予想している。ウッドショックによる木材価格の高騰が落ち着いてきていることが改善を促したと思われる。

《業績判断D.I.の推移》

	令和3年			令和4年				令和5年	見通し
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
業況	△25.3	△12.5	△10.2	△11.2	△7.5	△5.1	△12.0	△12.2	△2.4
売上	△19.5	△6.8	△12.5	△9.0	△1.2	△5.1	△10.8	0.0	2.4
収益	△13.8	△6.8	△12.5	△11.2	△16.2	△10.3	△16.9	△3.7	3.7
請負価格	△12.6	△5.7	△2.3	△5.6	11.2	14.1	26.5	15.9	7.3
資金繰り	△10.3	△9.1	△8.0	△7.9	△6.2	△7.7	△18.1	△2.4	2.4
人手	△6.9	△8.0	△8.0	△12.4	△7.5	△7.7	△14.5	△4.9	△7.3

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
同業者間の競争の激化	13.8%	技術力を高める	28.0%
材料価格の上昇	11.5%	経費を節減する	17.8%
売上の停滞・減少	10.1%	販路を広げる	11.6%

不動産業



【概況】

今期（R 5.1月～3月）の業況D.I.は△4.8（前期△4.8）と横這いの結果であった。売上・収益・販売価格が悪化し、在庫・資金繰りは改善した。

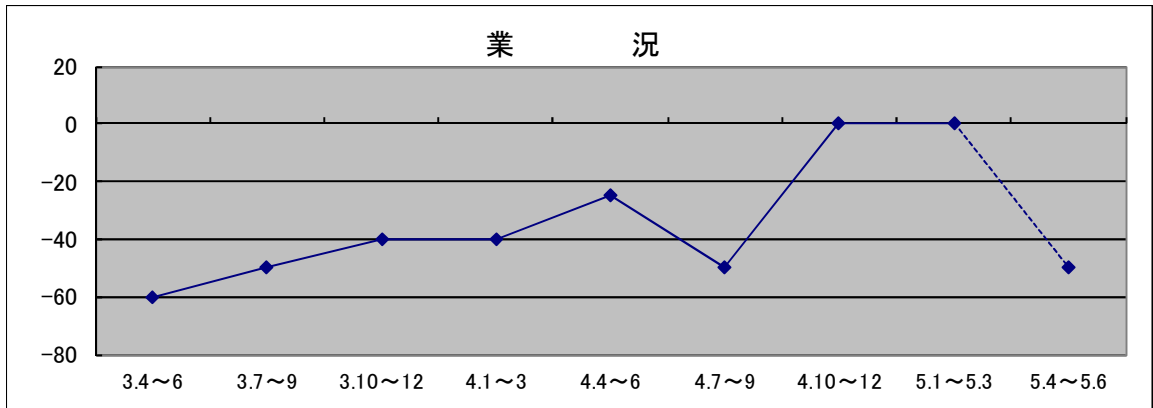
来期（R 5.4月～6月）は新年度の人の移動があることで、業況D.I.は0.0とやや改善するも、売上・収益と資金繰りは悪化すると見ている。新築物件などに関しては、木材価格が落ち着いたことにより、新築住宅着工戸数が増加すると予想される。

《業績判断D.I.の推移》

	令和3年			令和4年				令和5年	見通し
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
業況	△4.0	△11.5	△3.8	3.7	0.0	4.8	△4.8	△4.8	0.0
売上	△4.0	△19.2	△11.5	△7.4	△10.0	4.8	9.5	△9.5	△14.3
収益	△8.0	△7.7	△7.7	0.0	10.0	9.5	9.5	0.0	△4.8
販売価格	△8.0	△3.8	0.0	7.4	15.0	19.0	23.8	4.8	9.5
在庫	△16.0	△7.7	0.0	0.0	△15.0	△19.0	△9.5	△4.8	△4.8
資金繰り	△12.0	△7.7	△3.8	3.7	△5.0	△19.0	△9.5	0.0	△4.8

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
同業者間の競争の激化	32.1%	販路を広げる	18.0%
売上の停滞・減少	21.4%	提携先を見つける	18.0%
利幅の縮小	21.4%	宣伝・広告を強化する	16.0%

能登地区の縫製業



【概況】

今期（R 5.1月～3月）の業況D.I.は0.0と横這いで推移し、売上・収益・設備が悪化し、人手は改善したが、資金繰りは横這いであった。全体的にやや悪化した状況であり、業況は芳しくない。

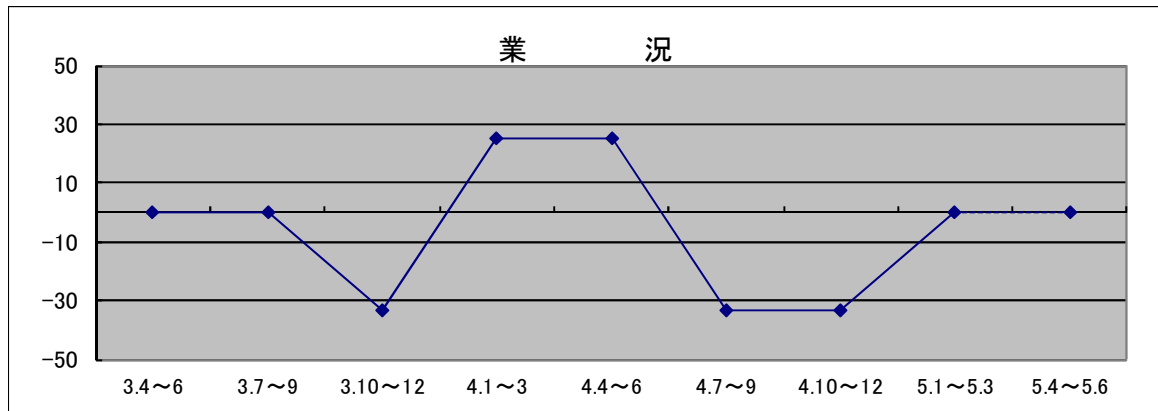
来期（R 5.4月～6月）は売上と人手が改善するが、業況は大幅に悪化、他の項目については横這いの見通しとなっており、動向に注視が必要である。

《業績判断D.I.の推移》

	令和3年			令和4年			令和5年	見通し	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
業況	△60.0	△50.0	△40.0	△40.0	△25.0	△50.0	0.0	0.0	△50.0
売上	△60.0	0.0	△20.0	20.0	25.0	0.0	0.0	△25.0	25.0
収益	△60.0	0.0	△20.0	0.0	25.0	△25.0	0.0	△25.0	△25.0
資金繰り	△20.0	0.0	△20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
人手	20.0	0.0	0.0	0.0	△25.0	△25.0	△75.0	△50.0	△25.0
設備	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	△25.0	△25.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
輸入製品との競争の激化	26.7%	提携先を見つける	23.5%
売上の停滞・減少	20.0%	販路を広げる	17.6%
人手不足	20.0%	経費を節減する	11.8%

能登地区の電子部品・半導体製造業



【概 況】

今期（R 5.1月～3月）業況D.I.については0.0と大幅に改善した。

世界的な半導体需要は段階的に落ち着いてきている。テレワークの浸透などによるノートパソコンなどの通信機器の需要は落ち着いたが、自動車分野などは需要が継続している。日本国内においても半導体の安定供給のための製造施設への投資など、国家主導の取り組みが行われている。

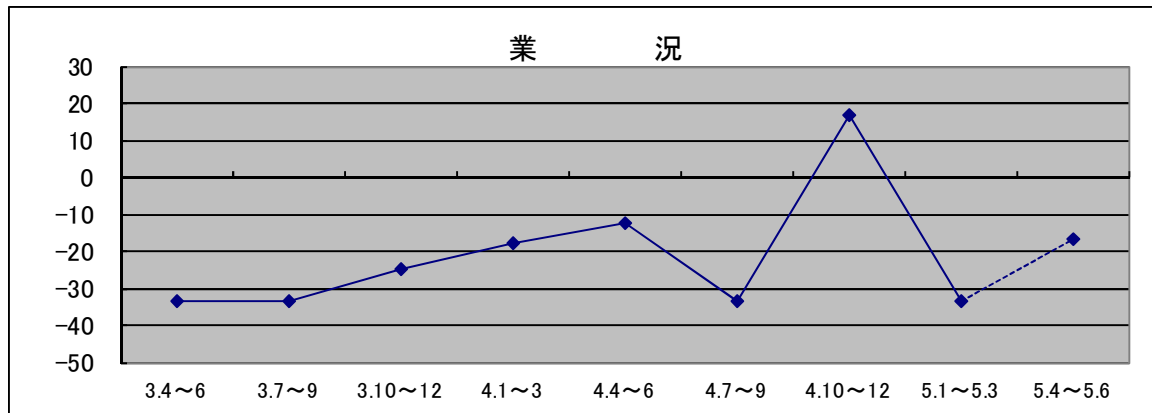
来期（R 5.4月～6月）は、売上は改善するとみており、それ以外の項目については横這いを予測している。

《業績判断D.I.の推移》

	令和3年			令和4年				令和5年	見通し
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
業 況	0.0	0.0	△33.3	0.0	25.0	△33.3	△33.3	0.0	0.0
売 上	△50.0	0.0	0.0	40.0	△50.0	△33.3	△66.7	△50.0	△25.0
収 益	50.0	0.0	△66.7	40.0	△50.0	0.0	△33.3	△25.0	△25.0
資金繰り	0.0	0.0	△33.3	0.0	△50.0	0.0	△33.3	△25.0	△25.0
人 手	0.0	0.0	0.0	△20.0	△25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
設 備	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	△33.3	△25.0	△25.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	18.2%	情報力を強化する	30.0%
輸入製品との競争の激化	18.2%	提携先を見つける	30.0%
原材料高	18.1%	経費を節減する	20.0%

能登地区の漆器業



【概 況】

今期（R 5.1月～3月）業況D.I.は、△33.3（前期16.7）と悪化した。しかし、どの項目についても前回予測より悪化の幅は少ない結果であった。海外観光客の入国制限や新型コロナウイルス感染症による国内での制限は緩和されたが、例年観光客が減少する時季であり、今期の業況は厳しい。

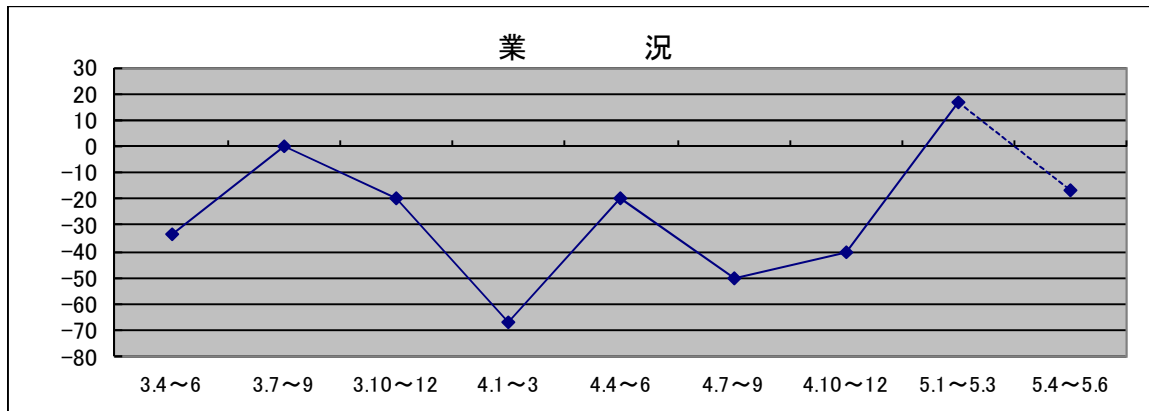
来期（R 5.4月～6月）は、大型連休等で人の動きが見込まれることから業況・売上・収益が改善し、他全ての項目が横這いで推移すると予想している。5月8日以降は入国制限が解除されることから、業況・売上・収益は改善し、インバウンドも増えていくと予想している。

《業績判断D.I.の推移》

	令和3年			令和4年			令和5年	見通し	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
業 況	△33.3	△33.3	△25.0	△17.6	△12.5	△33.3	16.7	△33.3	△16.7
売 上	△44.4	△33.3	△6.2	△17.6	△12.5	△16.7	16.7	△16.7	16.7
収 益	△38.9	△27.8	△12.5	△17.6	△12.5	△33.3	16.7	△16.7	0.0
資金繰り	△16.7	△27.8	△25.0	△5.9	△12.5	△50.0	△33.3	△33.3	△33.3
人 手	5.6	5.6	6.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
設 備	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	△16.7	△16.7	△16.7

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	25.0%	提携先を見つける	27.8%
輸入製品との競争の激化	18.8%	販路を広げる	22.2%
地場産業の衰退	12.5%	経費を節減する	16.7%

能登地区の木材業



【概 況】

今期（R 5.1月～3月）業況D.I.は16.7と前期の△40.0に比べ大幅に改善した。年明けから木材価格が緩やかに下がってきており、米国の住宅ローン金利の上昇による住宅新築需要の落ち込み等の影響があると思われる。経営上の問題点では、前回挙げた「取扱商品の陳腐化」が上位から消え、代わりに「合理化の不足」が入った。

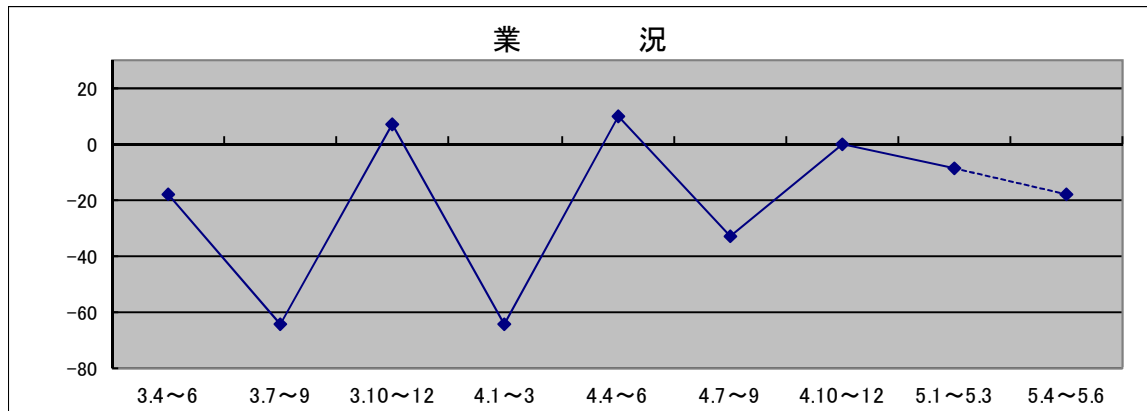
来期（R 5.4月～6月）は業況・売上・収益が悪化し、人手は改善、他の項目については横這いを予想している。浮き沈みが激しい状況が続くことから、今後も注視が必要である。

《業績判断D.I.の推移》

	令和3年			令和4年				令和5年	見通し
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
業況	△33.3	0.0	△20.0	△66.7	△20.0	△50.0	△40.0	16.7	△16.7
売上	△50.0	△40.0	△60.0	△66.7	△20.0	△37.5	△40.0	16.7	△16.7
収益	△50.0	△20.0	△60.0	△50.0	0.0	△37.5	△40.0	16.7	△16.7
資金繰り	△16.7	△20.0	△20.0	△33.3	△20.0	△25.0	△20.0	△16.7	△16.7
人手	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	△12.5	0.0	△33.3	0.0
設備	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	△12.5	0.0	0.0	0.0

*経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
合理化の不足	23.8%	提携先を見つける	37.5%
売上の停滞・減少	19.0%	販路を広げる	31.3%
同業者間の競争の激化	9.5%	品揃えを充実する	12.5%

能登地区の建具業



【概 況】

今期（R 5.1月～3月）の業況は、前期の0.0から△9.1と悪化した。例年業況が悪化する時期ではあるが、今回は下げ幅が少なく、安定・改善してきているといえる。経営上の問題点として「売上の停滞・減少」、「輸入製品との競争の激化」、「同業者間の競争の激化」が並び、パイの取り合いが激しくなっている。重点施策には「提携先を見つける」、「販路を広げる」、「経費を節減する」が入り、更なる経営改善のため様々な模索、実践を行っている様子が窺える。

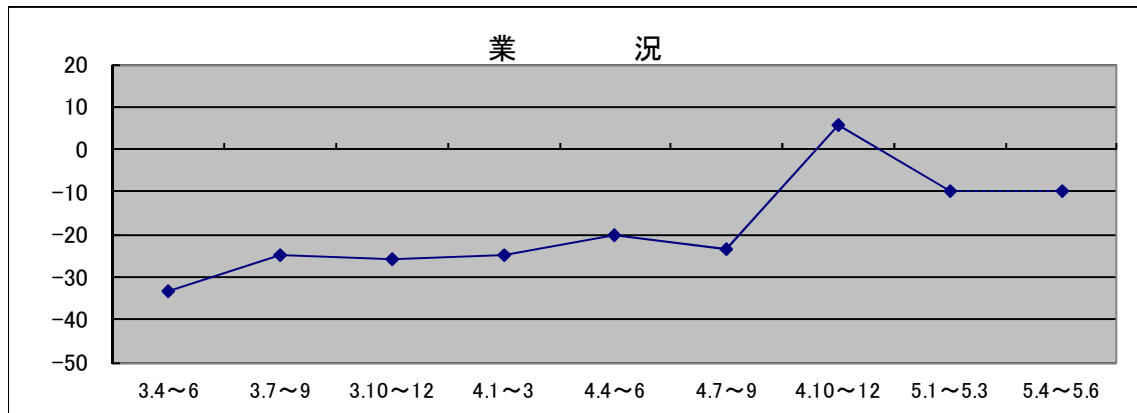
来期（R 5.4月～6月）は業況のみ悪化を予想、それ以外は横這いと全体的に落ち着く見通しとなっている。

《業績判断D.I.の推移》

	令和3年			令和4年			令和5年	見通し	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
業 況	△18.2	△64.3	7.1	△64.3	10.0	△33.3	0.0	△9.1	△18.2
売 上	△9.1	△50.0	7.1	△57.1	10.0	△33.3	0.0	△36.4	△36.4
収 益	△27.3	△42.9	7.1	△64.3	10.0	△33.3	0.0	△27.3	△27.3
資金繰り	0.0	0.0	△7.1	0.0	0.0	△22.2	0.0	△18.2	△18.2
人 手	0.0	0.0	△14.3	0.0	0.0	△11.1	0.0	0.0	0.0
設 備	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	33.3%	提携先を見つける	30.0%
輸入製品との競争の激化	23.3%	販路を広げる	21.2%
同業者間の競争の激化	16.7%	経費を節減する	15.2%

能登地区の織布業



【概 況】

今期（R 5.1月～3月）業況D.I.は△10.0（前期5.6）とやや悪化を示した。今期は設備を除く全ての項目が悪化となり、世界的な物価高の影響を受けていると思われる。

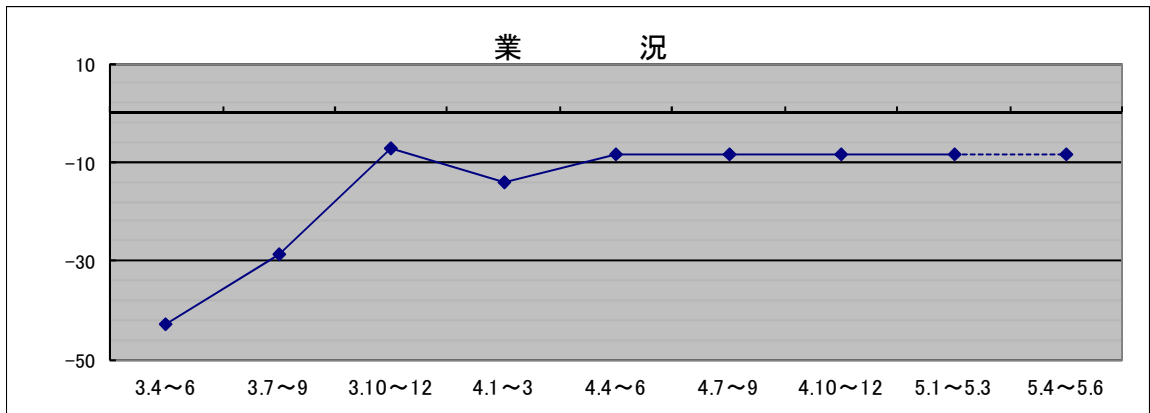
来期（R 5.4月～6月）は業況D.I.は横這いであるが、売上・収益・資金繰りは改善し、その他の項目については横這いの見込み。特殊製品である自動車のタイミングベルトやマスク、医療用ガウンなどの需要は一定程度ある。

《業績判断D.I.の推移》

	令和3年			令和4年				令和5年	見通し
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
業 況	△33.3	△25.0	△25.9	△25.0	△20.0	△23.5	5.6	△10.0	△10.0
売 上	△29.6	△10.7	△29.6	△20.8	0.0	△17.6	22.2	0.0	5.0
収 益	△25.9	△3.6	△29.6	△8.3	△5.0	△17.6	22.2	0.0	5.0
資金繰り	△14.8	0.0	△14.8	△8.3	△5.0	△17.6	△11.1	△20.0	△15.0
人 手	△3.7	0.0	△3.7	△4.2	△10.0	△5.9	△11.1	△15.0	△15.0
設 備	3.7	0.0	0.0	0.0	△5.0	0.0	△5.6	△5.0	△5.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	18.6%	提携先を見つける	31.5%
原材料高	11.6%	販路を広げる	22.2%
同業者間の競争の激化	9.3%	経費を節減する	13.0%

能登地区の繊維・雑品業



【概況】

今期（R 5.1月～3月）業況D.I.は△8.3と横這いであった。他全ての項目についても横這いで、業況は芳しいとはいえないが、四期連続で全くの横這いが続き、安定している。

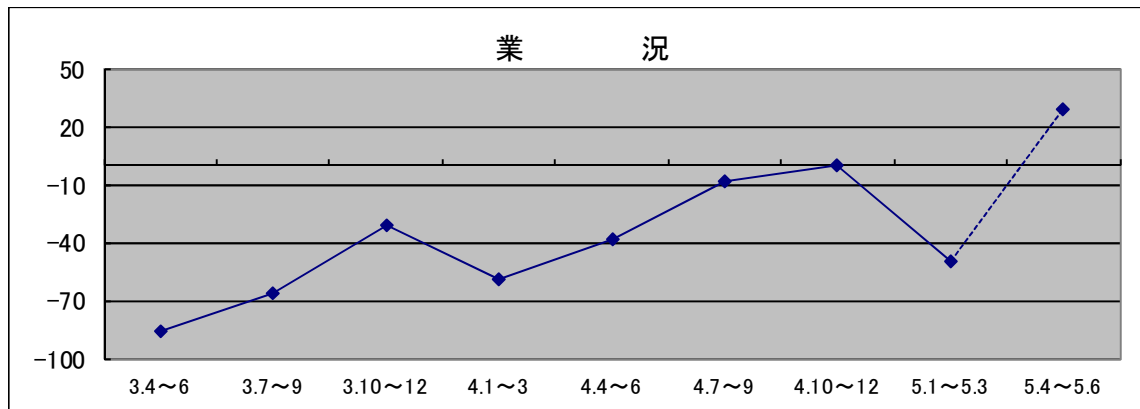
来期（R 5.4月～6月）の業況D.I.についても△8.3と横這いを予想。人手は若干悪化するが、人手以外の項目については横這いで現状維持と予想している。

《業績判断D.I.の推移》

	令和3年			令和4年				令和5年	見通し
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
業況	△42.9	△28.6	△7.1	△14.3	△8.3	△8.3	△8.3	△8.3	△8.3
売上	△42.9	△28.6	14.3	△14.3	△8.3	△8.3	△8.3	△8.3	△8.3
収益	△42.9	△28.6	14.3	△14.3	△8.3	△8.3	△8.3	△8.3	△8.3
資金繰り	0.0	0.0	△7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
人手	0.0	0.0	0.0	7.1	8.3	8.3	8.3	8.3	0.0
設備	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
同業者間の競争の激化	38.5%	提携先を見つける	50.0%
売上の停滞・減少	23.1%	販路を広げる	37.5%
利幅の縮小	23.1%	経費を節減する	12.5%

能登地区の観光業



【概 況】

今期（R 5.1月～3月）業況D.I.は、前期（R 4.10月～12月）の0.0から△50.0と大幅に悪化した。

世界的な物価高などが影響して、業況・売上・収益が悪化し、設備は改善を示したが、料金価格・資金繰りは横這いであった。

来期（R 5.4月～6月）は行楽のシーズンになり、人の流れが戻ることから、業況D.I.は28.6と大幅な改善を予想している。料金価格・資金繰りは悪化を予想するも、他全ての項目で改善を予想しており、良い傾向であるといえる。

《業績判断D.I.の推移》

	令和3年			令和4年			令和5年	見通し	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
業 況	△85.7	△66.7	△31.2	△58.8	△38.5	△8.3	0.0	△50.0	28.6
売 上	△78.6	△40.0	0.0	△41.2	△15.4	25.0	28.6	△14.3	42.9
収 益	△78.6	△40.0	△12.5	△47.1	△15.4	25.0	7.1	△14.3	50.0
料金価格	0.0	6.7	0.0	11.8	15.4	16.7	14.3	14.3	7.1
資金繰り	△42.9	△33.3	△18.8	△17.6	0.0	8.3	0.0	0.0	△7.1
設 備	△7.1	△6.7	△12.5	△29.4	△15.4	△8.3	△7.1	0.0	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
利幅の縮小	18.2%	提携先を見つける	31.1%
売上の停滞・減少	15.9%	経費を節減する	20.0%
材料価格の上昇	11.4%	宣伝・広告を強化する	17.8%

主要経済指標

◆ 労働

(時間)

	有効求人倍率 (季節調整値)	実質労働時間	
			うち所定外
3年 5月	1.36	129.2	7.5
3年 6月	1.38	141.4	8.0
3年 7月	1.35	141.5	8.5
3年 8月	1.36	131.7	7.9
3年 9月	1.40	137.0	8.4
3年 10月	1.40	141.3	8.7
3年 11月	1.38	142.5	8.9
3年 12月	1.38	142.2	9.2
4年 1月	1.46	132.1	8.3
4年 2月	1.51	133.5	8.7
4年 3月	1.47	137.3	8.8
4年 4月	1.52	145.5	9.6
4年 5月	1.63	135.9	7.4
4年 6月	1.64	143.7	8.6
4年 7月	1.67	142.6	9.5
4年 8月	1.67	136.1	9.2
4年 9月	1.69	138.4	9.8
4年 10月	1.66	140.7	10.5
4年 11月	1.65	142.4	10.4
4年 12月	1.66	140.7	10.2
5年 1月	1.69	130.0	8.8

資料: 石川県企画開発部統計課

◆ 消費者物価指数

※平成28年より2015年(平成27年)を100としています。

	総合	前年同月比
3年 5月	102.7	0.0
3年 6月	102.8	0.1
3年 7月	99.8	-0.2
3年 8月	99.9	0.1
3年 9月	100.2	0.7
3年 10月	100.2	0.3
3年 11月	100.1	0.6
3年 12月	100.1	0.6
4年 1月	100.2	0.1
4年 2月	100.8	0.9
4年 3月	101.0	0.8
4年 4月	101.3	2.0
4年 5月	101.6	1.8
4年 6月	101.3	1.6
4年 7月	102.0	2.2
4年 8月	102.5	2.6
4年 9月	102.9	2.7
4年 10月	103.2	3.0
4年 11月	103.4	3.3
4年 12月	103.6	3.5
5年 1月	104.2	4.1
5年 2月	103.4	2.6

資料: 石川県企画開発部統計課

◆ 信用保証

(百万円)

	保証承諾		保証債務	
	件数	金額	件数	金額
3年 8月	264	2,077	23,386	312,444
3年 9月	294	2,281	23,390	312,173
3年 10月	271	2,637	23,423	312,011
3年 11月	257	1,849	23,441	311,752
3年 12月	259	2,395	23,443	311,106
4年 1月	187	1,816	23,457	310,460
4年 2月	243	2,172	23,473	310,003
4年 3月	378	4,258	23,495	309,397
4年 4月	208	2,054	23,540	309,746
4年 5月	228	2,331	23,541	309,138
4年 6月	266	2,726	23,543	309,014
4年 7月	246	2,240	23,563	308,535
4年 8月	278	2,803	23,583	307,835
4年 9月	289	2,847	23,610	307,129
4年 10月	260	2,665	23,621	306,843
4年 11月	290	3,231	23,640	305,911
4年 12月	292	3,334	23,702	306,342
5年 1月	244	2,789	23,701	305,239
5年 2月	406	5,684	23,783	305,712
5年 3月	624	10,156	23,868	307,646

資料: 石川県信用保証協会

◆ 企業倒産件数

(百万円)

	件数	金額
3年 7月	4	62
3年 8月	3	204
3年 9月	3	166
3年 10月	7	6,514
3年 11月	4	640
3年 12月	4	578
4年 1月	2	950
4年 2月	4	200
4年 3月	7	2,279
4年 4月	3	184
4年 5月	2	432
4年 6月	4	184
4年 7月	3	705
4年 8月	2	1,210
4年 9月	6	3,888
4年 10月	7	585
4年 11月	4	500
4年 12月	5	330
5年 1月	2	100
5年 2月	1	35
5年 3月	6	180

資料: (株)東京商工リサーチ

主要経済指標

◆ 建築着工

(千㎡、百万円)

	建築着工総数		うち住宅着工	
	床面積	工事予定額	戸数(戸)	床面積
3年 4月	113	21,857	614	58
3年 5月	102	20,202	571	58
3年 6月	118	22,791	718	65
3年 7月	88	16,623	619	60
3年 8月	76	15,385	789	62
3年 9月	108	19,928	638	57
3年 10月	89	18,306	587	60
3年 11月	184	32,438	896	84
3年 12月	86	20,041	491	45
4年 1月	59	12,492	372	36
4年 2月	63	11,935	474	43
4年 3月	83	17,065	569	50
4年 4月	102	18,001	449	44
4年 5月	95	19,046	625	58
4年 6月	105	18,190	458	47
4年 7月	132	23,646	627	47
4年 8月	86	20,462	511	48
4年 9月	84	16,598	591	54
4年 10月	90	21,380	607	55
4年 11月	77	15,421	497	48
4年 12月	89	20,251	378	38
5年 1月	56	12,111	321	30
5年 2月	65	18,303	394	38

◆ 公共工事請負金額

(件、百万円)

	件数	請負金額
	3年 4月	509
3年 5月	389	22,743
3年 6月	584	22,503
3年 7月	664	15,495
3年 8月	471	11,897
3年 9月	537	15,581
3年 10月	458	8,538
3年 11月	402	9,874
3年 12月	271	4,870
4年 1月	193	8,467
4年 2月	112	2,584
4年 3月	99	4,381
4年 4月	609	22,419
4年 5月	318	22,299
4年 6月	669	26,992
4年 7月	627	15,305
4年 8月	592	18,876
4年 9月	600	15,943
4年 10月	484	10,848
4年 11月	445	13,413
4年 12月	350	8,601
5年 1月	277	5,754
5年 2月	198	6,782
5年 3月	127	4,460

資料:国土交通省(石川県内)

◆ 新車登録台数

(台)

	普通自動車	軽自動車
3年 4月	2,245	1,506
3年 5月	2,142	1,287
3年 6月	2,472	1,509
3年 7月	2,837	1,439
3年 8月	2,296	1,193
3年 9月	2,105	1,175
3年 10月	2,035	1,107
3年 11月	2,544	1,448
3年 12月	2,280	1,204
4年 1月	2,206	1,265
4年 2月	2,487	1,526
4年 3月	4,396	2,484
4年 4月	1,955	1,297
4年 5月	1,846	1,089
4年 6月	2,225	1,522
4年 7月	2,418	1,513
4年 8月	2,051	1,266
4年 9月	2,785	1,751
4年 10月	2,464	1,555
4年 11月	2,472	1,785
4年 12月	2,172	1,497
5年 1月	2,367	1,564
5年 2月	2,964	1,805
5年 3月	5,044	2,572

資料:石川県自動車販売店協会

◆ 温泉地宿泊数

(人)

	和倉温泉	輪島温泉
3年 5月	17,150	7,300
3年 6月	11,290	4,800
3年 7月	35,443	10,700
3年 8月	43,264	10,400
3年 9月	21,952	7,100
3年 10月	40,773	11,400
3年 11月	59,850	15,400
3年 12月	56,440	10,500
4年 1月	33,904	5,900
4年 2月	14,279	3,800
4年 3月	38,817	8,000
4年 4月	40,914	10,900
4年 5月	47,844	15,300
4年 6月	40,805	12,100
4年 7月	45,894	12,000
4年 8月	73,700	18,700
4年 9月	49,388	14,000
4年 10月	57,583	17,100
4年 11月	63,402	17,100
4年 12月	52,440	10,700
5年 1月	34,945	6,600
5年 2月	37,993	8,100

資料:北陸観光協会、和倉温泉観光協会
輪島市観光協会

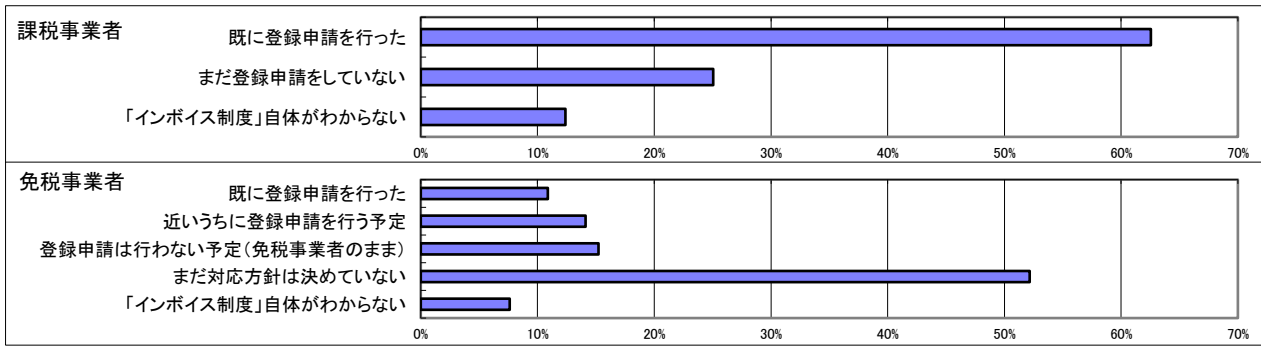
◆ 織物生産高

(千㎡)

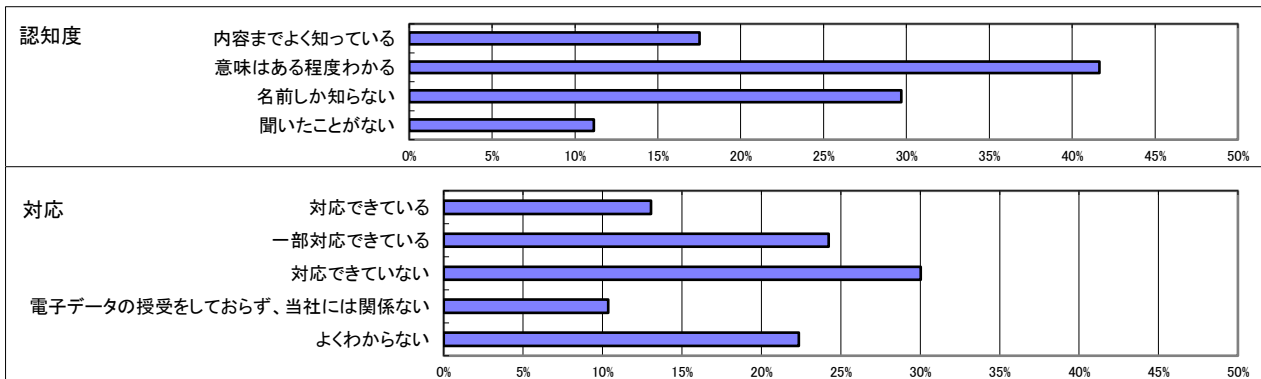
	合計
3年 4月	17,276
3年 5月	16,199
3年 6月	19,475
3年 7月	19,071
3年 8月	16,987
3年 9月	20,266
3年 10月	21,090
3年 11月	20,272
3年 12月	17,924
4年 1月	17,746
4年 2月	18,866
4年 3月	21,378
4年 4月	18,936
4年 5月	18,496
4年 6月	19,974
4年 7月	20,470
4年 8月	21,400
4年 9月	23,537
4年 10月	22,227
4年 11月	24,867
4年 12月	21,583
5年 1月	21,157

資料:石川県企画開発

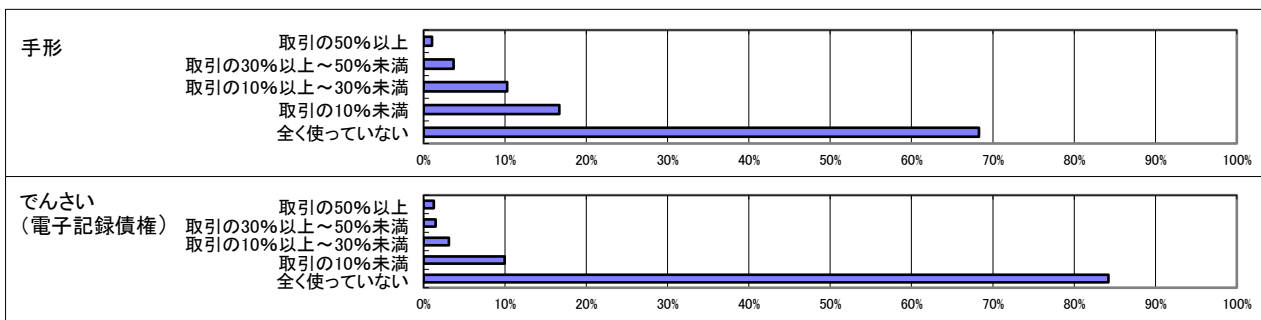
問1. 2023年10月に開始予定の「インボイス制度(適格請求書等保存方式)」へ向けて、インボイス(適格請求書)発行事業者への登録申請を求める動きがありますが、貴社ではどのように対応していますか。現在、消費税を納付している「課税事業者」の方は3つの中から、消費税の納税免除を受けている「免税事業者」の方は5つの中から、それぞれ最もあてはまるものを1つ、選んでお答えください。



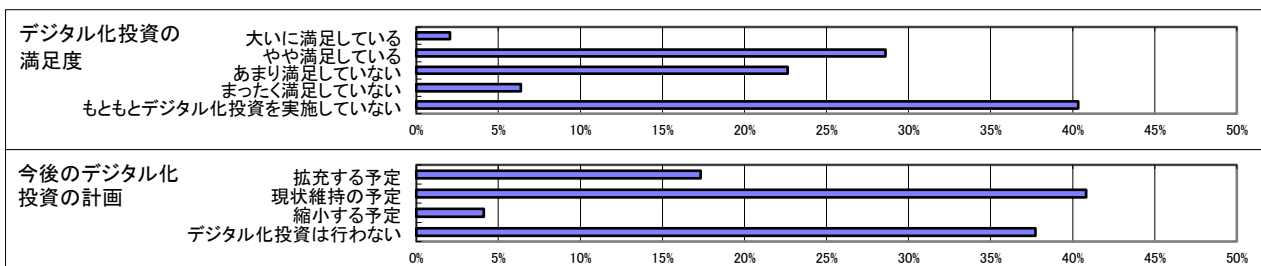
問2. 電子帳簿保存法(電帳法)が改正され、請求書などに関する電子データを送付・受領した場合には、その電子データを一定の要件を満たした形で保存することが必要となりました。この改正について、貴社の認知度、対応をそれぞれ1つお答えください。



問3. 貴社では、企業間での資金決済の際、手形をどの程度利用していますか。また、でんさい(電子記録債権)をどの程度利用していますか。それぞれ1つお答えください。



問4. 貴社では、これまで行ってきたデジタル化投資(コンピュータ、ネットワーク関連機器、ソフトウェアの購入、利用環境の整備等全般)の費用対効果について、どのように感じていますか。また、今後のデジタル化投資の計画についてお答えください。



問5. 貴社では、デジタル化を進めるに際しての問題点・課題として、どのようなものが考えられますか。次の中から最大で3つまでお答えください。

